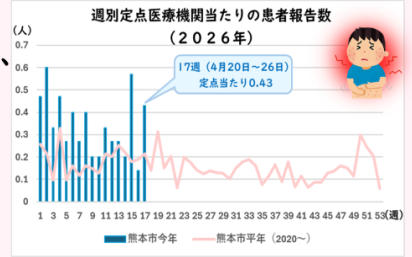




水痘 (みずぼうそう)

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる、かゆみを伴う発しんが全身に出現する感染症です。主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。

感染経路 感染した人のせきのしぶきを吸い込んだり（飛まつ感染）、感染者と接触したりすること（接触感染）により感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2週間程度（10日～21日）くらいとされています。



主な症状 発しんの発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発しんは紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱、膿疱（粘度のある液体が含まれる水疱）を経てかさぶたになり、治癒するとされています。小児における合併症は、皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、髄膜炎、脳炎などがあります。成人での水痘も稀にみられますが、成人に水痘が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。

予防方法 水痘にはワクチンがあり、1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。また、家庭内接触での発症率は90%と報告されており、家庭内での感染を防ぐために水疱（水ぶくれ）に触れた後の確実な手洗いやタオルの共用を避けるといったことも重要です。水痘が流行している家庭内や施設での予防では、72時間以内の水痘ワクチンの緊急接種による発症の防止、症状の軽症化が期待できます。

定点種別	疾患名	状況	16週(4/13~4/19)		17週(4/20~4/26)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	-	20	0.87	12	0.52
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	7	0.30	6	0.26
	急性呼吸器感染症(ARI)	/	1097	47.70	1208	52.52
小児科	RSウイルス感染症	/	11	0.79	7	0.50
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	8	0.57	1	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	63	4.50	58	4.14
	感染性胃腸炎	-	42	3.00	48	3.43
	水痘(みずぼうそう)	-	2	0.14	6	0.43
	手足口病	-	6	0.43	15	1.07
	伝染性紅斑(りんご病)	-	4	0.29	4	0.29
	突発性発しん	/	10	0.71	12	0.86
	ヘルパンギーナ	-	0	0.00	3	0.21
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	3	0.21
眼科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	6	1.20	3	0.60
基幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	/	1	0.20	2	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし